

ロシア東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)5月15日号 No.1260

目次

中央銀行HPで見るCIS各国の国際収支	服部 倫卓 1
エトセトラ	10
「世界ガス博」とロシア関連プレゼンテーションのご案内 / 10	
リトアニア共和国大使館移転のお知らせ / 10	
急成長するロシアの美容・健康製品市場 / 10	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定	11
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

中央銀行HPで見るCIS各国の国際収支

はじめに

毎年春になると、ロシアをはじめとするCIS各国の前年の国際収支統計が発表される。便利なもので、最近ではほとんどの国の中央銀行が独自のウェブサイトを開設しており、インターネットを通じて最新の国際収支データを手軽に入手できるようになった。ただし、中央銀行による情報開示の積極性、迅速さ、的確さには、国ごとに大きな開きがある。中銀ホームページを見比べるだけでも、各国の国情や政策担当能力の一端を垣間見ることができるようで、興味が尽きない。

そこで今回の速報では、やや変則的ながら、CIS各国の中央銀行のホームページを横断的に比較しつつ、そこで得られた最新の国際収支データを紹介・吟味することを試みる。まず、第1表において、CIS12カ国の中央銀行によるウェブサイトの開設状況、アドレス、使用言語を整理し、筆者による評点も加える。次に、主要国であるロシア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、アゼルバイジャンの国際収支表を紹介する(第2～6表)。そのうえで、最新の国際収支データが得られるかどうかという点を中心に、各国中央銀行HPの有用度に関しコメントを行い、あわせて国際収支状況も概観する。

なお、国際収支表には大別して、「標準表」と「分析表」という2つの作成方法がある。下表のうち、第2～4表は前者、第5～6表は後者に属し、形式が異なるので、ご留意いただきたい。